

平成19年度第3回山口県県民活動審議会の概要

1 開催日時・場所

平成20年2月19日(火) 10:00~11:55 山口県庁視聴覚室(1階)

2 出席者

委員 樋口会長、横田副会長

梶間委員、河波委員、草平委員、杉山委員、高見委員、
畑山委員、福森委員、藤原委員、船崎委員、山崎委員、
山田委員(16名中13名出席)

ワザバ - 「やまぐち県民活動きらめき財団」久保副理事長

県(事務局) 環境生活部長、県民生活課長、やまぐち県民活動支援センター長
県民活動推進班長ほか職員3名

3 会議概要

(1) 審議事項

ア 山口県県民活動促進基本計画の改定(案)について(資料1及び資料2)

資料1により「山口県県民活動促進基本計画」の改定案について事務局から説明した。

資料2により計画改定小委員会での審議状況等を小委員会委員長から説明した。

イ 今後のスケジュールについて

別紙により事務局から説明した。

(2) 主な意見等

- ・ 「住み良さ日本一の県づくり」を進めるため、山口きらら博や国民文化祭やまぐちの成果継承や山口国体に向けての取組など、ホップ・ステップ・ジャンプをした後が大事であり、それらの成果をいかに次代に繋いでいくかが課題。
- ・ 多くの人が県民活動に参加できるように改定後の計画の周知に努めてもらい、その後、計画がどのように活かされていくかフォローしていくことも必要。
- ・ 団塊の世代が退職後にスムーズに社会参加活動等に参加できるよう、きっかけづくりが大切。山口国体でのボランティア参加もそのきっかけとなる。
- ・ ボランティア活動に主体的に参加することにより得られる様々な成果がボランティア活動の報酬となる。
- ・ 県民活動やボランティア関係等の情報は行政や関係機関等のホームページから収集することが多いが、情報更新や他機関とのリンク等は重要であり、関係機関等のネットワーク等を通じた意識啓発や担当者研修等をしていただきたい。
- ・ 第3章の一部のグラフで男女別の回答割合(%)が図示されているが、基となる回答者総数とともに内訳の男女別人数もあわせて記載していただきたい。
- ・ 毎年の県民活動促進のイベントについては、もっと多くの人や県民活動団体が参加できるよう、開催時期や場所、内容等を工夫したらどうか。